

被評価法人：国立研究開発法人理化学研究所

委員氏名：●●●●

特定国立研究開発法人（特定法人）の見込評価等チェックシート（案）

<p>(1) 特定法人の見込評価等の結果に対する意見・指摘事項について</p> <p>○総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）は、特定法人の見込評価等の結果を点検するに当たり、CSTI 評価専門調査会にて所管省及び被評価法人からそれぞれ説明を求める。</p> <p>○その際、同会委員は本チェックシートを用いる。</p> <p>○各委員のチェックシートの内容は、CSTI評価専門調査会にて意見案（・指摘事項）としてとりまとめられ、CSTI本会議にて意見として決定される。</p> <p>○CSTIは、意見・指摘事項を特定法人所管省に速やかに通知する。</p>	<p>(2) チェックシートについて</p> <p>○「特定国立研究開発法人の見込評価等及び次期中長期目標の内容に対する意見・指摘事項の考え方」（区分・評価の観点）に基づき、特定法人の見込評価等の結果を点検する。</p> <p>○特定法人の見込評価等の結果に対して、取組状況を3段階で評価する（「十分」「おおむね十分」「不十分」の該当欄に☑を入れる）。その上で評価の理由を「左記評価の理由及び指摘事項」欄に記入する。</p> <p>○各評価の観点に関する質問事項がある場合は、「上記に関する質問のポイント」欄に記入する。</p>
--	--

■共通事項

区分・評価の観点	左記に関する質問のポイント	評価	左記評価の理由及び指摘事項
<p>(1) 特定法人所管省の見込評価等の結果についての点検</p> <p>○我が国全体の見地、国家戦略との整合性の観点から、科学技術基本計画（第5期基本計画においては、「Society 5.0」の実現や科学技術イノベーションの基盤的な力の強化（オープンイノベーションを推進する仕組みを含む）に向けた取組の実施状況を評価できているか。</p>		十分	
		おおむね十分	
		不十分	
<p>(2) 見込評価等における確認事項</p> <p>①基本計画の実現に向けて、我が国全体の見地から府省横断等の観点（特定法人など他の機関との連携を含む）を踏まえた取組を進めているか。特に中長期目標期間中に基本計画が改訂された場合は、改訂された基本計画に対応した取組状況を評価できているか。（例えば、未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組への貢献や具体的な成果など）</p>		十分	
		おおむね十分	
		不十分	
<p>(2) 見込評価等における確認事項</p> <p>②「特定国立研究開発法人による研究開発等を促進するための基本的な方針」（以下、「基本方針」という。）に沿って、世界最高水準の研究開発成果の創出・普及及び活用の促進に向けた取組※を進めているか。また、その取組状況を評価できているか。</p> <p>※産学官の人材、知、資金等を結集する場の形成状況、世界水準の研究者等の確保・育成、研究者が研究開発に専念できる環境、法人の長がリーダーシップを存分に発揮できる運営体制、民間資金など多様な資金の確保等。</p>		十分	
		おおむね十分	
		不十分	

■個別事項

区分・評価の観点	左記に関する質問のポイント	細目	評価	左記評価の理由及び指摘事項
(1) 見込評価等における 確認事項  A 理事長構想（科学力展開プラン）の実現に向けた取組を進めているか。特にイノベーションの種を生み出す自然科学の総合的な研究機関として、理事長構想の実現に向け、目指すべき理化学研究所の姿を達成するためのマネジメント（法人の統治のみならず組織化された研究マネジメントを含む）及び体制面（経営資源の配分戦略を含む）の整備の進捗状況や施策の効果（効果に対する自己分析を含む）について注視する。		※科学力展開プラン	十分	
		i) 研究開発成果最大化のための研究運営システムを開拓・モデル化する	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		ii) 至高の科学力で世界に先んじて新たな研究開発成果を創出する	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		iii) イノベーションを生み出す「科学技術ハブ」機能を形成する	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		iv) 国際頭脳循環の一極を担う	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		v) 世界的研究リーダーを育成する	おおむね十分	
			不十分	

区分・評価の観点	左記に関する質問のポイント	細目	評価	左記評価の理由及び指摘事項
(1) 見込評価等における 確認事項  B 中長期目標期間中に生じた業務運営に係る大規模な改善に向けた取組を適切に進めているか。		i) 新設された革新知能統合研究センターにおける基本計画の実現に向けた取組状況。（他の研究機関や理化学研究所の既存センター、産業界との連携等、横断的な融合によるイノベーションの種の創出に向けた取組について注視する）	十分	
			おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		ii) 優秀な若手研究者の長期的・安定的な雇用に向けた新たなテニユア制度の構築。（これまで研究者等の流動性を高めてきた経緯を踏まえ、安定性と流動性のバランスや予算面も含めた今後の計画について注視する）	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		iii) STAP細胞論文の不正問題を受けた後の再発防止の対応について（多細胞システム形成研究センター（CDB）改組を含む）。	おおむね十分	
			不十分	
			十分	
		その他のトピックス （内容については適宜追加）	おおむね十分	
			不十分	
			十分	

全体を通してのご意見・ご感想

--